

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育学研究科 学校教育支援専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専攻共通 必修科目	コミュニケーション支援特論	1	2			○			6	6	4			
	小計 (1科目)		2	0	0				6	6	4			
教育 臨床 心理 学 領 域 専 修	(臨床心理学)													
	臨床心理学特論Ⅰ	1	2			○					1			
	臨床心理学特論Ⅱ	1	2			○					1			
	臨床心理面接特論Ⅰ	1	2			○			1					
	臨床心理面接特論Ⅱ	1	2			○			1					
	臨床心理査定演習	1	4				○				1			
	心理療法特論Ⅰ	1		2		○			1					
	心理療法特論Ⅱ	1		2		○								
	心理療法特論Ⅲ	1		2		○								
	心身医学特論	1		2		○								
	精神医学特論	1		2		○								
	臨床心理学特論演習	1		2			○					1		
	臨床心理学研究法特論	1		2		○						1		
	学校臨床心理学特論	1		2		○						1		
	臨床心理基礎実習	1		2				○	1			2		
臨床心理実習	2		2				○	1	1					
小計 (15科目)			12	20	0				2	1	2			
教育 心理 学 領 域	(教育心理学)													
	教育心理学特論	1	2			○			1					
	教育心理学特論演習	1		2			○		1					
	教育心理実践研究	1	2				○		1					
	学校集団心理学特論	1	2			○			1					
	心理学研究法特論	1	2			○					1			
	教育心理実習	2		2				○	1	1				
	(発達心理学)													
	発達心理学特論	1	2			○				1				
発達心理学特論演習	1		2			○			1					
人間関係特論	1	2			○				1					
小計 (9科目)			12	6	0				1	1	1			
特 別 支 援 教 育 領 域	(障害児教育)													
	障害児教育学特論Ⅰ	1	2			○					1			
	障害児教育学特論Ⅱ	1		2		○					1			
	障害児教育課程特論	1	2			○					1			
	障害児教育学特論演習	1		2			○				1			
	(障害児心理)													
	障害児心理学特論Ⅰ	1	2			○				1				
	障害児心理学特論Ⅱ	1		2		○				1				
	学習障害指導法特論	1	2			○				1				
	障害児心理学特論演習	1		2			○			1				
	(障害児生理)													
	障害児病理学・生理学特論Ⅰ	1	2			○			1					
	障害児病理学・生理学特論Ⅱ	1		2		○			1					
障害児病理学・生理学特論演習	1		2			○		1						
情緒障害指導法特論	1	2			○			1						
障害児支援実習	2		2				○	1	1	1				

		小計（13科目）		12	14	0				1	1	1			
	課題研究	（課題研究）													
		教育臨床心理課題研究	2	6			○			2	1	2			
		障害児教育課題研究	2	6			○			1	1	1			
		小計（2科目）		12	0	0				3	2	3			
日本語支援教育専修	日本語支援教育	（言語教育）													
		日本語支援教育学特論	1	2			○			1					
		比較言語教育学特論	1	2			○				1				
		日本語支援教育実習（1）	1	2					○	1	1	1			
		日本語支援教育実習（2）	1		2				○		2				
		日本語支援教育実践研究（1）	2		2			○			2	1			
		日本語支援教育実践研究（2）	2		2			○		1	1				
		（言語文化）													
		日本語教育文法特論	1	2			○			1					
		言語本質論特論	1		2		○				1				
		応用言語学特論	1		2		○								
		（言語心理）													
		日本語習得研究特論	1	2			○			1					
		異文化理解教育特論	1		2		○				1				
		日本人論特論	1		2		○			1					
		（国際文化）													
		アメリカ言語文化特論	1		2		○			1					
		中華文化圏研究特論	1		2		○						1		
		ヨーロッパ言語・文化特論	1		2		○				2				
		アフリカ論特論	1		2		○								
		イスラム言語・文化特論	1		2		○								
		キリスト教研究特論	1		2		○				1				
		（文化共生）													
		多文化共生論特論	1		2		○				1				
		言語教育政策研究特論	1	2			○				1				
		多民族文化教育特論	1		2		○			1					
		ジェンダー論特論	1		2		○								
社会共生教育特論	1		2		○			1			1				
		小計（23科目）		12	34	0				3	4	1			
	課題研究	（課題研究）													
		日本語支援教育課題研究	2	6				○		3	4	1			
		小計（1科目）		6	0	0				3	4	1			
合計（64科目）				68	74	0				6	6	4			

学位又は称号	修士（教育学）	学位又は学科の分野	教育学・保育学関係
--------	---------	-----------	-----------

設置の趣旨・必要性

I 設置の趣旨・必要性

- (1) 学校教育専攻の教育臨床心理専修及び日本語支援教育専修は、それぞれ平成14年度、平成17年度に設置されたが、その社会的ニーズはますます高まっている。
- (2) 教育臨床心理専修は、教育臨床心理専修（臨床心理学領域）が財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第2種（修了後実務経験1年以上で受験可能）認定を受けていることもあり、受験者数は常に5倍以上となっている。また、教育心理学領域と特別支援教育領域は、これまでも、現職教員の在籍者数が多く、教育現場への心理学的対応を深く理解しようとするニーズは高い。
- (3) 開設間もない日本語支援教育専修も、平成12年に文化庁から出された日本語教員養成のための指針に準じてカリキュラムを構成し、教育現場の多様なニーズに応えようとしていることから、教育臨床心理専修と同様に受験者数が定員の4～5倍に達している。
- (4) したがって、現状でもそれぞれのニーズに十分対応していると判断されるが、日進月歩の社会においては、将来に向けて現状以上の充実を図る必要がある。
- (5) 学校教育現場において人と人とのコミュニケーションに係わる問題点を多角的多面的に分析でき、児童生徒の適応力向上を目指した支援を

行う人材を養成する目的で、現学校教育専攻を学校教育支援専攻に改組し、その専攻の下に教育臨床心理専修と日本語支援教育専修を置くことにする。

- (6) 教育臨床心理専修は、心や身体に障害を抱えている児童・生徒に対する高度の専門的支援者の養成をめざしつつ、児童・生徒の「心の教育」「心の健康」の向上を図るための専門的知見とスキルを身につけることも新たな目的とする。
- (7) 日本語支援教育専修は、外国人児童生徒や帰国子女、および海外の日本語学習者等に対する高度の日本語に関する専門的支援者の養成を目的としている。
- (8) 理論と実践の連携をさらに深める観点から、カリキュラムの充実も図ることとし、修了単位数も30単位から32単位にした。

II 教育課程の構成と特色

(1) 専攻共通必修科目

心や身体に障害を抱えている児童・生徒に対する高度の専門的支援者の養成及び海外の日本語学習者や帰国子女に対する高度の日本語に関する専門的支援者の養成を目的とする学校教育支援専攻の学習にとって、かれらのコミュニケーションの問題の状況を多角的、多面的分析させ、考察させることは、それぞれの専門教育の基礎として不可欠な要素である。そこで、「コミュニケーション支援特論」(2単位)の科目を専攻共通必修科目として課している。

(2) 専修に関する科目

教育臨床心理専修では、臨床心理領域が財団法人日本臨床心理資格認定協会の第2種認定を、特別支援教育領域が教育職員免許法の専修免許の課程認定を受けている。また、日本語支援教育専修は、文化庁から出された日本語教師養成のための指針にそってカリキュラムを構成している。したがって、それぞれに専修のカリキュラムは、高度の専門性を育成する科目と内容から構成されている。

(3) 自由選択科目

各専修では、各学生に対して、一方で専門性を深める方向で、他方で視野を広げる中で研究を深める方向での研究を保証する観点から、12～14単位を自由選択単位として課している。科目としては、理論学習を実践に転化する学習内容からなる実習科目を増やしている。

(4) 課題研究

各専修では、高度の専門性の育成を保証する観点から、各専修・領域の学生に対して、6単位を課している。

修 了 要 件 及 び 履 修 方 法	授 業 期 間 等	
1. 修業年限は、2年を原則とする。 (長期履修学生制度：2年以上4年以内) 2. 下記の科目から修了に必要な単位として、32単位以上を取得すること。 ・専攻共通必修科目から、2単位取得する。 ・日本語支援教育専修は、専修が定める必修科目から、12単位を取得する。 ・教育臨床心理専修は、各領域が定める必修科目から、12単位を取得する。 ・各専修毎に専修が認める選択科目から、12単位以上を取得する。 ・「課題研究」から、6単位以上を取得する。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分